

名古屋港 飛島ふ頭南側コンテナターミナル

脱炭素化の取組主体	主な取組内容
飛島コンテナ埠頭株式会社	インバータ制御方式のガントリークレーンの導入 遠隔自働RTG及びAGVによるヤード荷役 ヤード照明のLED化 昼休みゲートオープン及び搬出予約の導入 管理棟照明のLED化及び屋上緑化
名古屋四日市国際港湾株式会社 名古屋港埠頭株式会社	ヤード照明のLED化
名古屋港管理組合	名古屋港港湾脱炭素化推進計画の作成 環境性能に優れた船舶へのインセンティブ制度の提供

[ターミナル概要]

名古屋港飛島ふ頭南側コンテナターミナルは、大型コンテナ船に対応できる水深16mの耐震強化岸壁2バース、22列対応の免振装置付ガントリークレーン6基を備えた高規格コンテナターミナルです。遠隔自働RTG、AGV(無人搬送台車)を導入した日本初の自動化ターミナルで、ITを活用してこれらの機器の効率的な連携を図り、さらなる荷役効率の向上に取り組んでいます。これからもお客様に選ばれ続けるサステナブルなコンテナターミナルとして、深化と進化を続けていきます。



遠隔自働RTGとAGVの自働荷役
(アイドリングストップ・夜間消灯自働荷役)



遠隔自働RTGとトレーラーの遠隔操作



名古屋港港湾脱炭素化推進協議会



CNP Certification

認証レベル
Level 4 ++

(認証日 令和8年8月25日)

CO₂排出量原単位

-

(算出に必要な一部情報が不足)